別紙

令和８年度校区まちづくり交付金　交付決定助言書
【上之島小学校区まちづくり協議会】

〔交付決定にかかる条件〕

※下記に記載の〔交付決定にかかる条件〕については、年度内の活動の中で実践や実施に向けた検討を進めてください。その実績や検討状況については、実績報告書に記載いただき、ご報告ください。

〇取り組み①：上之島サマーフェスタ

・アンケート等による効果検証の実施についてご検討ください。

〇取り組み②：モルック体験会・大会

・期待する効果として、「家族参加」から「新たな担い手」へとつなげていくことを掲げられています。そのための具体的な手法について、十分に検討するとともに、効果検証を実施することについてご検討ください。一世帯ずつであっても継続的に関わりを持ってもらえるよう、段階的かつ丁寧に進めてください。
・体験会を通じて興味を持った参加者が、大会までの間に日常的にモルックができる環境づくりについてご検討ください。

〇取り組み③：健康相談セミナー

・受診率について、具体的な数値目標を設定しておくことで、事業終了後の検証がしやすくなります。具体的な数値目標の設定についてご検討ください。併せて、受診率の高い他校区での取り組みも参考にしながら、ご検討ください。
・参加者数について、より多くの人が参加できるような工夫についてご検討ください

〇取り組み⑤：グランドゴルフ大会

・「取り組み②：モルック体験会・大会」と同様に、期待する効果として、「家族参加」から「新たな担い手」へとつなげていくことを掲げられています。そのための具体的な手法について、十分に検討するとともに、効果検証を実施することについてご検討ください。一世帯ずつであっても継続的に関わりを持ってもらえるよう、段階的かつ丁寧に進めてください。
・参加者の固定化が課題とのことですが、多世代が参加できるような工夫についてご検討ください。子ども用の道具も揃えられる予定とのことですので、想定する層への効果的な周知となるようファミリー層に向けた広報についてご検討ください。

〇取り組み⑥：防犯・防災フェスタ

・今後の取り組みとして、家族や若年層に焦点をあてる場合、カエルキャラバン（https://kaeru-caravan.jp/）の取り組みも参考に、取り組みの企画や運営についてご検討ください。

・防災事業における交流は「共助」とも言えます。「自助」に関する取り組みに加えて、3 年目の事業でもあることから、「共助」の視点を取り入れたバケツリレー、毛布担架の作成と搬送、三角巾による救急救命など、多世代で交流しながら力を合わせて行える取り組みについてご検討ください。

〔今後の活動にかかる助言〕

※下記に記載の〔今後の活動にかかる助言〕については、まち協活動でご活用ください。こちらの項目については、実績報告の際の実施状況等のご報告は不要です。

〇取り組み④：地域安全見守り

新たなスタッフが増えることを期待しております。今後についても引き続き継続して実施してください。

<全体を通して>

・事業の実施にあたっては、アンケートや聞き取りをするなど、事業の検証についてご検討ください。企画段階から、目的や目標設定（参加人数や満足度など）を行い、何を聞くかも明確にしておくと、忘れることはないと思います。

また、お祭りの場合、アンケートは取りにくい場合もあるので、最低限聞きたい内容を掲示してシール投票を行ってもらうというのも一つの手法ですので、ご検討ください。

・北山本小学校区まちづくり協議会で企画されている「こども防災士」の取り組みは有意義と思います。上之島小学校区まちづくり協議会も家族や若年層に焦点をあてているように感じますから、とくに、子どもたちを巻き込んだ防災の取り組みは有効と思います。

こういった「こども防災士」（あるいは大人の防災士も増やしていくことも含め）取得者を増やし、防災減災活動に活用していくような、次につながっていく展開も考えて、進めていきましょう。八尾市の校区のなかで、「防災といえば上之島」と呼ばれることを目指して頑張ってください。

・家族層、若年層などまち協の新しい担い手づくりへ向けて：未所属層（自治会・子供会などに未加入）を巻き込む方法

「新しく引っ越してきた」「自治会や PTA の縛りが面倒で入っていない」という層を、従来の組織論ではなく「関わり方のハードルを下げる」ことで巻き込んでいる方法を紹介しておきます。

取り組み：「団体加入」ではなく「テーマ・イベント参加」から入る手法

【「緩やかなボランティア（お助け隊）」方式】

取り組み: 自治会などへの「入会」を求めるのをやめ、「年に 1 回、草むしりだけ手伝ってくれる人」「日曜日にペンキ塗りだけ手伝ってくれる人」というスキマ時間の登録制ボランティア（通称：地域おこし隊・お助け隊）を募集。

展開のポイント: 「役員決めや定例会などの面倒な付き合い」を一切排除し、「その日の作業

だけ手伝う」という気軽さを作ります。IT 企業勤務の若い世代や、自治会未加入のファミリー層が「これならできる」と登録につながる可能性があります。作業後に一緒に BBQ 等をするうちに親しくなり、結果として地域の中心メンバーへ育っていくという好循環が生まれていくかもしれません。

【神奈川県横浜市・「PLAY-PARK（プレイパーク）」を通じたパパ・ママ世代の巻き込み】
＜https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/playpark/playpark-1.html＞
取り組み: 従来の「子ども会」は役員の負担感が重く加入率が低下していました。そこで、公園で「自分の責任で自由に遊ぶ」プレイパークイベントを有志で開催。
成功のポイント: 「子ども会に入って計画を立てる」のではなく、「今週末、公園でベーコン焼いて食べるけど来る？」というライトな企画からスタート。子どもが遊んでいる横で親同士が繋がり、「これ、もっと定期的にやろうよ」と自然発生的にコミュニティ化しました。既存の役職縛りがないため、自治会未加入の若い親世代が自発的に運営側に回っています。